

考動・躍動・感動

☆涙の裏に・・・☆ ～ソチオリンピックより～

- 最終順位が確定し、ライバルの選手たちに抱きつかれたその瞬間、高梨選手の目からこぼれ落ちた涙。
- ジャンプ団体で銅メダルが確定し、たくさんのカメラを前にインタビューが始まった直後、葛西選手の目からあふれ出てきた涙。

今回のソチオリンピックを見る中で、先生が特に心に残った二人の涙です。この涙の裏には、先生たちでは想像もつかない様々な経験乗り越え、言葉では表現できない様々な想いが込められていることでしょう。大会当日はもちろん、大会を迎えるまでの努力があるからこそ、自分自身で心の葛藤を乗り越えたからこそ、観客を熱狂させ、時として見ている人の心をうつのでしょ



う。他にも日本人選手に限らず、今回のソチオリンピックを通し、多くのアスリートからたくさんの感動・勇気・エネルギーを与えてもらったのは、先生だけではないはずです。お互いにこれからの生活の中のどこかで生かしていきたいですね。

最後に、この二人（高梨選手と葛西選手）の言葉をみんなに送りたいと思います。

（高梨沙羅選手）

「今まで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えるためにこの場所に来たので、いいところを見せられなかったのがとても残念」。

「今まで一緒に戦ってきた仲間なので「おめでとう」という気持ちと、「自分もあそこに立ちたかった」という悔しい気持ちでいっぱいになった。」

（葛西紀明選手）

「うれしいです。みんな頑張ったんで。（清水）礼留飛も悔しい思いをしてきて、団体のメンバーに選ばれてよかったと思う。（竹内）折も病気でも選ばれて、一緒に団体に出られた事を本当にうれしく思う。（伊東）大貴もヒザ痛めて、それでも4人で力を合わせてメダルを取れてとてもうれしい。」

「メダルの色は関係なく、4人みんなで力を合わせて取れたということがうれしいので、早くみんなで（メダルを）首にかけたい。ワールドカップからずっと一緒にまわって来て、メダルを取れるかどうかという厳しい世界のレベルの中で、みんな一人一人がいいジャンプして頑張ったおかげなんじゃないかな。」



【今週の主な予定】

24日(月)：食育講演会(5限)

27日(木)：テスト個票配布・テスト反省 ※部活なし

28日(金)：3年生を送る会学年リハーサル(1限 at 体育館)